

令和元年8月29日 00445号

編集者:佐藤寿春

北見武道通信

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】第51回北海道ジュニア柔道体重別選手権大会100kg級で優勝！

7月7日(日)千歳市総合武道館で開催された「第51回北海道ジュニア柔道体重別選手権大会」で中澤完太(写真左:東海札幌高1年)選手が男子100kg級で優勝しました。出場資格の年齢は15歳~20歳。道内の若い柔道選手が北海道チャンピオンと全国大会出場権1名をかけての戦いです。ジュニア選手権は高校生から大学3



年生迄が出場できる大会だけに、高校1年生の中澤完太選手には厳しいハードルが待っていますが、初戦に1本勝ちを収めると2回戦では優勝候補の

大学2年生を延長の末「技有」で勝利するなど、圧倒的な優勝で「実に見事!」というほかはありません。同じ管内出身で高校2年生の三ツ石岳大(写真右)選手も後輩の活躍を誇らしく喜びます。三ツ石選手は今後、東海札幌高柔道部の要として部員を纏めていける逸材でもあります。中澤、三ツ石両選手は以前から良きライバルとして活躍、成長しています。二人揃っての取材は今回で二度目。平成29年8月17日発行北見武道通信(339号)では全道中学校柔道大会で共に優勝した二人(写真右上)が紹介されています。卒業後、共に東海札幌高校に進み逞しくなった姿(写真左下)は一目瞭然です。2019年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会に向け



て! 身体も心も大きく成長した二人の今後の活躍が期待されます。中澤完太選手は9月15日埼玉県立武道館で開催される「2019年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会」に向けた準備が始まりました。この度の取材では「優勝を目指します」と力強い抱負を聞くことが出来ました。この大会を足掛かりに世界に羽ばたく日も近い事と期待も高まります。(佐藤)

道振興協会事務所の花シリーズ「ダリア」 ダリアは、「華麗、優雅、気品、威厳」のほかに「移り気、裏切り、不安定」などの花言葉があり、「うわき心」とも解釈できます。さすが名前にふさわしく、可愛いピンクが花の色気を覗かせています。(渋谷)



連載「武道宝鑑」第22弾 剣術極意(千葉周作遺稿『剣法秘訣』より)剣術修行心得(22回目)

又一つは向うを追い込みなどしたる時も、此の方大きく聲を懸くれば、向こうさては我が透きを見付けて斯くいうならん思い、餘儀なき所、苦しき所より打ち突きを出すものなり、その所を受け、又は外づし、善き勝ちを取るをいう。又一つは向うに追い込まれなどしたる時、向こうより此の方を打たん突かんとする気見ゆえば、此の方向うの業を知りたる體にて、大きく声を掛ければ、向こうさては今なさんとする業を知って斯くいうならんと疑う所を早く打ち、早く突き勝ちを得ることなり、之を三つの声というなり。又三つの挫きという事あり、一つは太刀を殺し、一つは業を殺し、一つは気を殺す・・・つづく